

## 教育実践と研究のつながり： 一ステップ式質的研究法を通してー

大学教育評価システムが導入されてから、教師たちである私たちは、日々実践と研究の間で、戦っています。このワークショップは、実践と研究の関係をいかに自分の研究課題として捉え、さらに、新たな実践への視座を得ることを目的とする。そして、現在人文科学分野において、現場に目を向け、その現象に潜んでいる“理”を見出すには、質的研究法が提唱されている。この一連の研究の流れの中、このワークショップのもうひとつの目的は、質的研究手法として確立された理論構築法TAE (Thinking At the Edge)を通して、教育実践と研究とのつながりを勉強し、または、改めて見直していくことでもある。自分の教育実践、そして研究に悩んでいる方に、ぜひとも一度体験していただきたい！！

### 日時:4ヶ月で8日間の講座

5/15 (日) インタビュー入門

6/12 (日) マイ・センテンスとは何か・各自インタビュー資料に基づき、マイ・センテンスを見つけるワーク

6/18 (土) パターンとは何か (1) : 各自インタビュー資料に基づき、パターンを見つけるワーク (1)

6/25 (土) パターンとは何か (2) : 各自インタビュー資料に基づき、パターンを見つけるワーク (2)

7/23 (土) 交差とは何か (1) : 各自インタビュー資料に基づき、交差を行うワーク (1)

7/24 (日) 交差とは何か (2) : 各自インタビュー資料に基づき、交差を行うワーク (2)

8/6 (土) 理論構築編 (1) : 各自インタビュー資料に基づき、理論作りのワーク (1)

8/7 (日) 理論構築編 (2) : 各自インタビュー資料に基づき、理論作りのワーク (2)

9/3 (土) 発表会

\*6月以降の会場と申し込みの締め切りは、申し込み表にてご確認ください。

**講師:**得丸さと子教授(日本女子体育大学)

**対象:**教師・教育実践・研究に興味を持つ方

(ご出席の方に、「研修証明書」をお渡しします)

**受講料:** 申し込み表にてご確認ください。

**時間:** 10:00~17:00 (受付開始時間: 9:30から)

**申込締切:** 申し込み表にてご確認ください。

**申込方法:** 参加申込書は台湾日本語教育学会 ホームページからダウンロードし、Eメール添付で、ご送付ください。

**申込送付先:** [taiwanjapanese.url.tw@gmail.com](mailto:taiwanjapanese.url.tw@gmail.com)

**問い合わせ:** [taiwanjapanese.url.tw@gmail.com](mailto:taiwanjapanese.url.tw@gmail.com)

**参加料金のお支払いは当日受付まで**

主催: 台湾日本語教育学会・静宜大学・東呉大学